

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	学習交流推進事業	会計	一般会計	事業No.	778	施策順No.	28-004
		事業種別	政策・重点	予算科目	10-5-4-11-2		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	公民館		
施策	28 学習交流活動の推進			事業期間	開始	19	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市民						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		飯田市の人口(人)	107259	106630	105691	105036		
	意図	・学習交流活動に参加し、ネットワークを広げ、地域社会に関心を持つ。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	公民館の学級講座延べ開設数(事業)	311	343	342	320	391	320	A
	公民館の学級講座の延べ参加者数(人)	11926	14907	12857	13000	13153	13000	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	数値的には、目標に掲げた回数、参加人数で事業展開できている。但し、この指標が事業で意図する状態を表したものであるかどうか、後期計画では再考する必要がある。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<ul style="list-style-type: none"> 子ども、青年(成人式含む)、成人、女性、高齢者の対象別学級講座の実施。 食育、地域づくり、産業振興、防災、時事問題などの課題別学習の実施。 市公民館合同事業の実施。 天龍峡夏期大学(H22 第58回開催)、高校生講座の実施。 		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 課題別、対象別の各種学級・講座等及び市公民館合同事業の実施(各公民館) 【橋北】工作体験教室、しめ飾り講習会・餅つき交流会他、【橋南】橋南史跡めぐり、【羽場】曙の里講座、夜の講座他、【丸山】食のふれあい工房、国宝への旅他、【東野】若草の里「東野講座」、女性学級「めだかの学校」他、【座光寺】麻績いきいき大学、麻績の里体験学校他、【松尾】松尾サイエンススクール、地域いきいきセミナー他、【下久堅】文永寺へ行こう!、ひさかた村塾他、【上久堅】市民セミナー「三遠南信自動車道を考える」、分館セミナー他、【千代】高齢者学級、AED講習会他、【龍江】子ども理科教室、龍峡小唄を伝えよう他、【竜丘】大人の学校、竜丘市民大学他、【川路】天龍峡夏期大学、第22回川路の明日を考える研究集会他、【三穂】高齢者学級、真陽地区との交流事業IN真陽他、【山本】高齢者学級、地域学級ひびき講座、【伊賀良】かさまつ大学、世代間交流(おやすみ作り事業)他、【鼎】華甲大学(高齢者学級)、食育「もぐもぐ隊」他、【上郷】高齢者学級、地域づくりフォーラム他、【上村】漢字能力検定、世代間交流事業他、【南信濃】女性学級、高齢者学級他、【Dブロック】りんごとみかんの住民交流、Dブロック交流スポーツ大会他、【市公】高校生講座、公民館コーラスグループ発表会、レディースソフト、飯田市女性バレーボール大会、飯田市公民館大会	講座等開催数 延べ参加者数	391事業 13,153人
23年度実施計画	課題別、対象別の各種学級・講座等及び合同事業の実施(各公民館) ＜主な計画＞北斗のまち・さわやか講座・工作体験教室他【橋北】、橋南史跡めぐり・橋南文化講座【橋南】、曙の里講座・夜の講座【羽場】、食のふれあい工房・国宝への旅他【丸山】、秋の探鳥会【羽場・丸山合同】、女性学級・若草の里東野講座他【東野】、麻績いきいき大学・麻績の里体験学校他【座光寺】、松尾サイエンススクール【松尾】、下久堅科学実験教室・ひさかた村塾【下久堅】、男性料理教室・子ども科学教室他【上久堅】、地域間交流事業・高齢者学級他【千代】、龍江子供理科教室龍峡小唄を伝えよう他【龍江】、大人の学校世代間交流事業・ふるさと学習会【竜丘】、第59回天龍峡夏期大学、第23回川路の明日を考える研究集会他【川路】、ほっとけない楽習会、世代間交流【三穂】、高齢者学級、地域学級ひびき講座【山本】、かさまつ大学【伊賀良】、華甲大学(高齢者学級)・食育講座「もぐもぐ隊」他【鼎】、高齢者学級、地域づくりフォーラム他【上郷】、かみむら「再発見」講座(仮)他【上村】、高齢者学級いきいこの広場・女性学級【南信濃】、Dブロックママさんソフトボール大会、りんごとみかんの住民交流他【Dブロック】、成人式【全地区公民館】、高校生講座、飯田市公民館大会他【市公】	講座等開催数 延べ参加者数	320事業 13,000人

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補正事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		7,154	6,723	6,796		
計(A)		7,154	6,723	6,796		
正規職員所要時間			3,800			
臨時職員等所要時間			950			
人件費計(B)			14,610			
トータルコスト A+B			21,333			

4 事業に対する市民や議会の意見

--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民を対象に、①学びの機会が得られる、②多様なネットワークが広がる、③社会活動に主体的に参画する。	施策の成果指標又はMトS指標	学習活動を行っている市民の割合 家族や職場以外で交流がある市民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	各公民館では、地域に着目した学習と交流を深めるために地域の特徴を踏まえて多様な学級や講座を展開してきた。		
	後期に向けた課題	引き続き多様な学級や講座を開講していく必要があるが、事業の展開を地域の抱える課題の解決に結びつけていく仕掛けをどう作るか。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	学級・講座の展開とともに、各地区公民館の専門委員会が独自に地区の特徴的な観点を捉えて事業を企画運営してきた。		
	後期に向けた課題	専門委員会の委員を担う経験年数が地域自治組織導入後に短くなってきており、今後、専門委員会が主体的に地域課題の解決に向けた事業をどう展開していけるかが課題となる。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	各公民館では、限られた予算の中で必要最低限の経費支出で事業を展開してきた。		
	後期に向けた課題	前期基本計画では、当該施策に1本で予算配分されるものを8事業分野に予算の細々目を分割して事業を実施してきた。公民館ではそれを更に市公を含む21公民館に再配分しており、各公民館の事業展開は極めて小額の事業費枠に縛られるため硬直化し柔軟な事業の組立ができない。後期計画ではこの点の改善を図る必要がある。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	例えばバスを利用した日帰研修を実施の場合には、参加費を徴収するなど受益者負担を得ながら学習の機会を提供している。		
	後期に向けた課題	特になし。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	①学習の主体は市民(地域住民)である。 ②公民館は、市民(地域住民)の多様な学びのニーズに応えながら、学習と交流を通じた地域づくり・人づくりの一翼を担う役割を果たしている。		
	後期に向けた課題	引き続き多様な学級や講座を開講し、より多くの市民(地域住民)に主体的に参加してもらうこと。		
全体を通じて	4年間の振り返り	各公民館では、年代や課題別に多様な学習と交流の機会を提供してきた。		
	後期に向けた課題	前期基本計画では、当該施策に1本で予算配分されるものを、8事業分野に予算の細々目分割してきた。公民館ではそれを更に市公を含む21公民館に再配分しており、各公民館の事業展開は極めて小額の事業費枠に縛られるため硬直化した組立しかできない状況にあり、後期計画では改善を図る必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ある	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	---	-----------------------------------